

No.	010	—	3001	事務事業名	危機管理関係事業	細事務事業名	災害時保健活動マニュアル作成等事務	公的関与	4				
PLAN	課名	健康推進課	係名	地域保健係	電話番号	089-966-2191	メールアドレス	kenkosuishin@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 年度 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第2章 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	5 消防体制と防災・減災対策の充実		主要施策	(1)総合的な・防災・減災対策の充実				
	事業の対象	市民				根拠法令	災害対策基本法						
	事業の目的	最終的	災害時の保健衛生活動マニュアル等を定め推進することにより、市民の生命・身体等を保護し、安心・安全な暮らしのできる居住環境づくりを目指します。			今年度	災害時保健衛生活動マニュアル作成に向け資料収集・課題分析に努めます。						
	活動内容	①	既存のマニュアル(愛媛県、新居浜市等)を参考に東温市版マニュアルの作成に向けて資料収集を行います。			④							
		②	過去の災害対応時の保健衛生活動について評価・分析を行います。			⑤							
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	最終目標			
				事務の性質上、指標設定になじまない。		目標							
				実績									
				目標									
				実績									
				目標									
				実績									
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	衛生 費							
	直接事業費		平成 28 年度決算	平成 29 年度決算	平成 30 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円								
	計(A)	0 千円	0 千円	0 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.100 人	596 千円	0.072 人	433 千円	0.080 人	490 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		596 千円	433 千円	490 千円								
一次評価者	地域保健係	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	市が実施主体となって行うべき重要課題です。												
有効性	類似施策はなく、地域防災計画との整合性を踏まえた事業の実施は不可避です。												
達成度	東温市地域防災計画に基づき、保健衛生活動マニュアルの整備が必要です。適時見直しが必要です。												
効率性	マニュアルの策定は低コストで策定が可能であり、コストの削減は不要です。												
当面の課題	災害時の対応について、一部(健康状態の調査票等)はできていますが、保健衛生活動マニュアルとしての整備が必要です。												
改訂計画	災害時保健衛生活動の課題を分析し、誰もが対応できるように資料を収集します。												
二次評価者	健康推進課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	災害時、健康推進課は医療救護と防疫・保健活動を担うことになり、発災直後は圧倒的に人手不足が予測されます。また、医療救護活動は、災害医療コーディネータやDMATや市医師会との連携や調整が不可欠で、こうした機関と共通認識を持ちながら、また、市防災計画や県医療救護活動要領との整合をとりながらマニュアル化することが必要になります。発災直後、想定した活動ができる可能性はゼロに等しいですが、それを見越したうえで初動の活動ができるマニュアルづくりが望まれます。												

No.	010	—	3002	事務事業名	医師歯科医師等連絡調整業務	細事務事業名		公的関与	8				
PLAN	課名	健康推進課	係名	地域保健係	電話番号	089-966-2191	メールアドレス	kenkosuishin@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 年度 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第1章 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	1 生涯健康づくりの推進		主要施策	(1) 地域保健・地域医療体制の充実				
	事業の対象	東温市医師会、歯科医師会会員				根拠法令							
	事業の目的	最終的	各団体、会員等との連携を深め、市の保健事業他を効果的に実施し、市民の健康増進に寄与します。			今年度	共催イベントや連絡会で連携を深めます。						
	活動内容	①	東温市健康フォーラムを関係団体と共催で開催する。			④							
		②	医師、歯科医師連絡会を開催し市の保健事業他の報告、意見交換をする。			⑤							
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	最終目標			
				事務の性質上、指標設定になじまない。		目標							
				実績									
				目標									
				実績									
				目標									
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	衛生		費					
	直接事業費		平成 28 年度決算	平成 29 年度決算	平成 30 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	71 千円	91 千円	143 千円								
	計(A)	71 千円	91 千円	143 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.886 人	5,284 千円	0.571 人	3,433 千円	0.600 人	3,679 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		5,355 千円	3,524 千円	3,822 千円								
一次評価者	地域保健係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	保健事業等に関連深い団体との連携が必要です。												
有効性	医師会、歯科医師会の協力必要な業務が多岐にわたるため、良好な関係を確保することが必要です。												
達成度	共催で健康フォーラムを開催するなど、連携を深めつつ、市民へ健康に関する情報提供等の啓発活動ができています。												
効率性	健康フォーラムは医師会、歯科医師会と経費を分担しているため、市の経費負担は軽減されています。												
当面の課題	市の保健、福祉、介護他の事業の実施に関わりが深い団体であるため、決め細やかな連携ができる関係を継続する必要があります。												
改訂計画	引き続き、医師・歯科医師連絡会の実施、共催事業である健康フォーラムの開催を支援します。												
二次評価者	健康推進課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	少子高齢化、人口減少が進行する中、業務推進すべてにおいて包括ケア的取組が求められており、保健・福祉・介護・医療等の連携ニーズが増大しています。恵まれた医療福祉環境を活用した行政サービスの提供は、従来より取り組んできたことであり、その体制づくりを継続する必要があります。引き続き、市内医師会・歯科医師会をはじめ、愛媛医療センター、愛媛大学医学部等との連携を深め、市民がより安心して暮らせる医療と健康のまちづくりに向けた施策の展開が望まれます。また、医師会等の主導で毎年開催しています健康フォーラムは、市民との交流の場でもあり、今後も親しみやすいイベントとして継続実施が望まれます。												

No.	010	—	3003	事務事業名	保健事業推進事務	細事務事業名	衛生委員関係事務	公的関与	4				
PLAN	課名	健康推進課	係名	地域保健係	電話番号	089-966-2191	メールアドレス	kenkosuishin@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	16年度～年度 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第1章 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	1 生涯健康づくりの推進		主要施策	(1) 地域保健・地域医療体制の充実				
	事業の対象	自治区長から推薦を受け市長が委嘱した衛生委員（75名）ほか				根拠法令	東温市衛生委員設置要綱等						
	事業の目的	最終的	みんなが元気になる健康福祉のまちづくりの推進のため設置された衛生委員の活動を支援します。				今年度	衛生委員の役割や活動内容について理解が深まるよう研修等を行います。					
	活動内容	①	衛生委員の委嘱、活動内容の通知及び支払い等の事務を行います。				④						
		②	年2回研修会を開催し、衛生委員の活動支援を行います。				⑤						
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	最終目標		
				事務の性質上、指標設定になじまない。			目標						
					実績								
					目標								
					実績								
					目標								
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	衛生費						
	直接事業費		平成 28 年度決算	平成 29 年度決算	平成 30 年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	2,283千円	2,355千円	2,365千円								
	計(A)	2,283千円	2,355千円	2,365千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.177人	1,056千円	0.040人	240千円	0.500人	3,066千円					
		臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円					
	全体事業費(A+B)		3,339千円	2,595千円	5,431千円								
一次評価者	地域保健係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	地域の健康づくりリーダーとしての役割や地域の健康づくり活動について研修会や活動の場面で理解していただくよう努めました。												
有効性	各種健康診査や健康講座等に対して、口コミによる受診勧奨や事業への協力等を得ることで円滑な実施につながります。												
達成度	衛生委員の活動としては概ね目標達成できています。												
効率性	健康づくりの視点から地域づくりを進めていくためにリーダー的役割を担う衛生委員さんの育成は重要です。												
当面の課題	衛生委員の細やかな活動が地域の健康づくりにつながるため、研修内容を検討していきます。												
改革計画	任期が1年であるため、活動内容を十分理解できないまま委員交代していることも多い中、効果的に委員活動が実施できるよう委員研修や活動計画を検討します。												
二次評価者	健康推進課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	市民の健康づくりは、行政の活動だけでは不十分で、地域における推進役として衛生委員の協力が不可欠です。市が主催する健診や保健衛生の各種行事の周知や参加勧奨で協力いただいておりますが、口コミや顔つなぎによる勧奨が効果的であるため、そうした取組を強調して依頼するのを感じます。また、これに加えて各地区での講座開設等自主的な取組がより活発になるよう、他市町の取組を参考にしながら、衛生委員の任期や役割について調査し、情報を提供することが必要だと考えます。												

No.	010	—	3004	事務事業名	健康増進計画推進事業	細事務事業名		公的関与	4				
PLAN	課名	健康推進課	係名	地域保健係	電話番号	089-966-2191	メールアドレス	kenkosuishin@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	26年度～36年度				
	総合計画	政策目標	第1章 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	1 生涯健康づくりの推進		主要施策	(1) 地域保健・地域医療体制の充実				
	事業の対象	市民				根拠法令	健康増進法						
	事業の目的	最終的	市民の健康寿命を延伸するとともに、健康格差を縮小します。			今年度	母子は食生活、成人は各種健康診査の受診率向上をテーマに健康課題の整理、事業の見直しをします。						
	活動内容	①	食育アンケート、母子健診結果をまとめて子どもの食生活の課題を整理し、今後の取組について部会で協議する。			④							
		②	各種がん検診、健康診査の受診率向上のための取組について業務を整理し、今後の取組について部会で協議する。			⑤							
		③	母子保健部会、老成人保健推進部会で協議した取組を健康づくり推進協議会で取りまとめ、計画・業務に反映させる。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	最終目標			
				事務の性質上、指標設定になじまない。		目標							
				実績									
				目標									
				実績									
				目標									
				実績									
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	衛生			費				
	直接事業費		平成 28 年度決算	平成 29 年度決算	平成 30 年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	219千円	200千円	312千円								
	計(A)	219千円	200千円	312千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.496人	2,958千円	0.458人	2,753千円	0.500人	3,066千円					
		臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円					
	全体事業費(A+B)		3,177千円	2,953千円	3,378千円								
一次評価者	地域保健係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	市民全体を対象とした健康づくりに関する業務の方向性を決めるために必要な業務です。												
有効性	部会、協議会の開催を通じて、市の健康課題を関係団体と共有し、取組を整理できています。												
達成度	母子、老成人それぞれの健康課題の解決に向けた取組を進めています。												
効率性	多様な健康課題の解決に向けた協議をするため、効率的な運用にそぐわない状況があります。												
当面の課題	日々の業務と並行して、課題の整理、解決への取組をまとめるため職員の意識付けや資料の整理、まとめなどスキルアップに努める必要があります。												
改 革 画	部会、協議会を節目として継続的に係内、課内での情報共有、意識統一を図ります。												
二次評価者	健康推進課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	計画の進捗状況を確認するためには、目標設定した指標を追跡調査する必要がありますが、全てを新たに独自調査する時間や人手の余裕もなく、その困難さを感じます。他機関の統計も含めて色々な数値を探り、市の課題を整理し、次の取組に繋げることは大変意味のあることです。市の健康づくり業務の基になり、業務見直しやレベルアップの動機づけとなる業務で、こうした取組姿勢を維持する必要があります。												

No.	010	—	3006	事務事業名	食育推進業務	細事務事業名		公的関与	1	
PLAN	課名	健康推進課	係名	地域保健係	電話番号	089-966-2191	メールアドレス	kenkosuishin@city.toon.ehime.jp		
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度	
	総合計画	政策目標	第1章 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	1 生涯健康づくりの推進		主要施策	(1) 地域保健・地域医療体制の充実	
	事業の対象	市民、地域、職場、学校、生産者、事業者及び行政等				根拠法令	食育基本法、東温市食育推進会議条例			
	事業の目的	最終的	東温市の食育に関する施策を総合的かつ計画的に推進する上で必要な事項について継続して検討します。			今年度	食育に関する市民向けアンケートを実施し、その結果を東温市食育推進会議で共有します。			
	活動内容	①	アンケートの内容について食育推進会議で協議します。			④	アンケート結果を冊子にまとめ、東温市食育推進会議にて報告します。			
		②	アンケートの実施を業務委託します。			⑤				
		③	アンケートの結果を前回調査結果(平成23年度実施)及び第2次東温市食育推進計画で設定した目標値と照合し、分析します。							
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	最終目標
		会議開催回数	開催回数		回	目標	2	3	3	—
			実績	2	3					
アンケート調査結果報告書		結果報告		式	目標	—	1	—	—	
				実績	—	1				
				目標						
				実績						
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	衛生			費	
	直接事業費			平成 28 年度決算	平成 29 年度決算	平成 30 年度予算	備考			
		国・県支出金	0 千円		0 千円	0 千円	1. H28決算額は、食育推進会議の委員報酬及び派遣手数料を計上した。			
		地方債	0 千円		0 千円	0 千円	2. H29決算額は委員報酬、派遣手数料、アンケート実施業務委託料(1,350千円)を計上した。			
		その他特定財源	0 千円		0 千円	0 千円	3. H30予算額は委員報酬、派遣手数料、第3次食育推進計画策定業務委託料(2,009千円)を計上した。			
		一般財源	120 千円		1,538 千円	2,225 千円				
	計(A)	120 千円		1,538 千円	2,225 千円					
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.313 人	1,867 千円	0.225 人	1,353 千円	0.225 人	1,379 千円		
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円		
	全体事業費(A+B)		1,987 千円		2,891 千円	3,604 千円				
一次評価者	地域保健係	総合評価点	B	必要性	3	有効性	4	達成度	2	
		効率性	3	今後の方向性	方法改善					
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)									
必要性	食育事業は行政だけでなく、関係団体とも横断的に連携する必要があるため、市が取りまとめを行う必要があります。									
有効性	多方面からの意見等をいただき、市の食育事業に取り入れることで、その効率や効果の向上が期待できます。									
達成度	第2次食育推進計画の設定目標を達成できるよう、会議の意見は可能な限り食育事業に反映するようにしています。									
効率性	食育事業を効率よく、かつ、効果的に進めていくことを目的に実施していますので、その効果が期待できます。									
当面の課題	行政の関係部署と関係団体(保育所・幼稚園、学校、地域、生産者、事業者等)の横断的な連携が必要であるが、関係団体の取組についてあまり把握・協議ができていません。									
改 革 画	関係団体の取組について報告及び議論を行う時間を確保し、食育推進の連携体制をとれるよう検討していきます。									
二次評価者	健康推進課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	
		効率性	3	今後の方向性	方法改善					
二次評価での指摘事項	食育基本法は、食育が国民的運動となることを期待しています。国民的運動とするためには多方面にわたる啓発活動が必要であるので、庁内各課が横断的に取り組んでいます。関係団体の主体的取組がもう少し活性化すればよいと感じています。法律制定時に比して国民の食に対する意識は向上していると感じますが、食を巡る問題は常に発生しており、今後も取組を根気強く継続する必要があります。									

No.	010	—	3011	事務事業名	骨髄バンクドナー支援事業	細事務事業名	骨髄バンクドナー支援事業	公的関与	4				
PLAN	課名	健康推進課	係名	地域保健係	電話番号	089-966-2191	メールアドレス	kenkosuishin@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	26年度～年度				
	総合計画	政策目標	第1章 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	1 生涯健康づくりの推進		主要施策	(5) 難病・感染症対策の推進				
	事業の対象	骨髄バンクドナー登録者で、骨髄等の提供を行った市民				根拠法令	東温市骨髄バンクドナー支援事業助成金交付要綱						
	事業の目的	最終的	骨髄移植認定施設(愛媛大学医学部附属病院)が立地する市として、ドナー及び家族の経済的負担を軽減し、骨髄等提供の機会やドナー登録の増加を図ることで、市民が安心して暮らせることを目指します。			今年度	骨髄バンクドナー支援事業の継続的な周知活動及び申請者の増加を図ります。						
	活動内容	①	骨髄バンクドナー支援事業の広報活動。(広報、ホームページ等での周知等)			④							
		②	骨髄等提供者への助成。			⑤							
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	最終目標			
		申請件数	申請 (予定) 件数		件	目標	2	2	2	—			
				実績	0	0							
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	衛生			費				
	直接事業費	平成 28 年度決算		平成 29 年度決算		平成 30 年度予算		備考					
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	0 千円	0 千円	200 千円								
	計(A)	0 千円	0 千円	200 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.015 人	89 千円	0.015 人	90 千円	0.015 人	92 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		89 千円		90 千円		292 千円						
一次評価者	地域保健係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	公共性が高く、民間ではサービスの提供が難しいため、市が実施する必要があります。												
有効性	骨髄等提供時にかかる入院・通院時の経済的負担を軽減することで、提供の機会やドナー登録者の増加に期待ができます。												
達成度	事業の周知を継続して行うことで、申請件数の増加を目指します。												
効率性	市民が安心して暮らせる環境づくりを行う上で、骨髄等提供の機会やドナー登録者の増加は効果的であり、入院・通院の日数から助成額も妥当です。												
当面の課題	骨髄等の提供を行った市民が、個人情報に関係でどれだけの情報を把握することができないため、個別にお知らせし、制度利用を促すことができません。												
改訂計画	広報やホームページ等の媒体をできるだけ活用し、事業の周知を引き続き行っていきます。												
二次評価者	健康推進課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	骨髄提供者の存在自体が少なく、周知方法も限られ、結果はやむを得ないものと思われまます。国がもっと力を入れるべき事業と考えまます。												